

平成21年度 薩摩川内市事務事業評価表

1 事務事業の位置付け (Plan)				内部評価者名 課長・室長・支所長	所長
事務事業名	主催事業 夏のアドベンチャー「薩摩川内ぼっけもんの旅」			担当者	研修指導グループ
所管部課名	少年自然の家			事業の根拠 (根拠法令)	
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・ 文化のまちづくり	主要施策 (節)	青少年の健全育成
				施策 (項)	青少年の健全育成
予算科目等	会計	一般会計		款	社会教育費
	項	教育費		目	少年自然の家費
	事項	少年自然の家事業費		細事項	少年自然の家事業費

事業の概要

甑島での自転車の旅(35km), キャンプ活動, 地元の児童生徒との交流活動, 漁師体験, 魚さばき体験, 自然学習等

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を, 何を対象とする事業か)	小学校5年生から中学・高校生までを対象		事業開始年度		参加希望者数		
	手段 (市がどのような活動をするか)	甑島の険しい大自然の中で, キャンプ活動や地元の小中学生との交流を図ることを通して甑島の魅力を体験させる		活動指標 (市として何をを行うか?)	指標名	参加者へのアンケート		
					最終目標値	定員を超えること 回収率100%		
	意図 (どのような目的で事業を行うか)	大自然の中で様々な野外活動に挑戦しながら, やりぬく力や冒険心・強調性などの生きる力を育むことをねらいに実施		成果指標 (活動をした上で, 目標となる成果をどのように設定するか?)	最終目標値	100%以上		
最終年度					90%			
コスト・指標の推移	項目	単位	平成19年度 決算	平成20年度 決算	平成21年度 (見込み)	平成22年度 (見込み)	平成23年度 (見込み)	
	事業費	国・県支出金	千円					
		その他						
		一般財源		886	1,168	1,200	1,200	1,200
		合計(A)		886	1,168	1,200	1,200	1,200
	従事職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	人件費(B)	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
	従事嘱託員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	人件費(C)	千円	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
	トータルコスト	千円	8,886	9,168	9,200	9,200	9,200	
活動指標の推移			90名	110名				
			100%	100%				
成果指標の推移			50名	50名				
			100%	100%				

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう, 支出する主なものを記入してください)

車両等借上代, フェリー代, 監視船借上代, 自転車修理代, 野外炊飯等食事代, 人件費

3 事業の視点別評価 (Check)

妥当性	対象・手段の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 改善の余地はある	<input type="checkbox"/> 妥当でない
	(上記選択の理由) 薩摩川内市の大自然の中で、小学5年生から高校生までの異年齢集団の中での野外活動等を体験させ、団体としてのつながり、協調性、忍耐力、冒険心を養う。			
妥当性	市が関与すべき妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき	<input type="checkbox"/> 民間でも可能	<input type="checkbox"/> 民間で実施すべき
	(上記選択の理由) 青少年社会教育施設の本分として、青少年健全育成の推進の中で、児童生徒の自然の中での体験交流活動を通し、青少年の健全育成に寄与することができる。			
効率性	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> ある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない
	(上記選択の理由) 3泊4日の日程で上甑地域と下甑地域で交互に実施する。 実施に当たっては、自分たちでできるものは全て自己作業で実施し、極力、経費削減に努めている。			
効率性	人件費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> ある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない
	(上記選択の理由) 参加者定員50名の安全確保、活動の充実を図るために、最低限必要な人員を配置している。 特に、安全の確保については、自転車での移動の際の交通事故、海での活動の際の水難事故などを未然に防止するため、現在の人員の削減は困難である。			
有効性	成果の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> 低い
	(上記選択の理由) 薩摩川内市の大自然の中で、冒険心、協調性などの「生きる力」を育み、ふるさとの素晴らしさを再発見させ、未来を担う薩摩川内市民を育てることができる。			
有効性	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> かなりある	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある	<input type="checkbox"/> ほとんどない
	(上記選択の理由) 目的地までの行程、目的地での活動を見直すことで、成果の向上を図れる。			

4 事業の改革・改善の方向性 (Action)

内部評価 (二次)	今後の改革の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続					
		<input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合	<input type="checkbox"/> 手段の改善	<input type="checkbox"/> 移管	<input type="checkbox"/> 縮小
		<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止					
	上記方向の理由	甑島の恵まれた自然と地形を活用した、体験活動は発達期にある児童生徒の心身に多大な好影響を与えている。 甑島の文化に触れる大変良い機会であり、甑島に対する理解が深まる。					
	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画	甑4地区で(里・上甑・下甑・鹿島)年度毎に実施 甑島の自然を活用した体験活動の実施					

内部評価 (二次)	評価者名						
	内部評価結果						
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 低い				
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 低い				
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 低い				
	今後の改革の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続					
		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合	<input type="checkbox"/> 手段の改善	<input type="checkbox"/> 移管	<input type="checkbox"/> 縮小
		<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止					
	上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分)	サポート体制の充実と強化 自主事業の全体的な見直しと、事業の継続性の検証					